

RALLY TIME KEEPER

取 扱 説 明 書

2014.05.16 Ver1.4.1

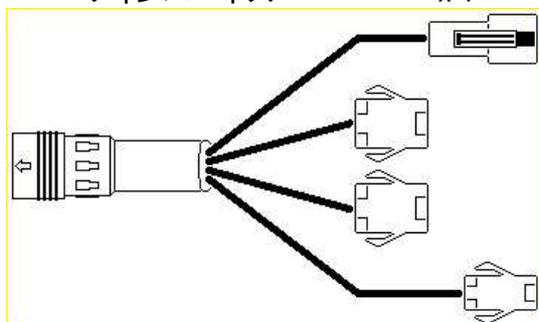
本体と付属品の確認

お使いになる前に、以下のものが入っていることを確認してください。
万一、不足のものがありましたら、販売店までご連絡ください。

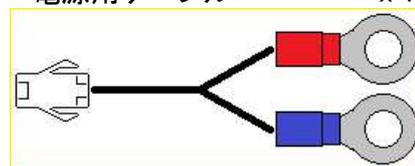
本体 & 取り付けステー x 1

説明書・保証書(本書) x 1

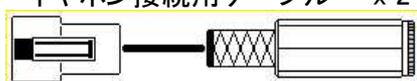
メインハーネス x 1



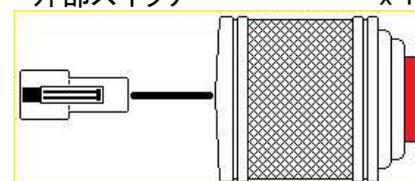
電源用ケーブル x 1



イヤホン接続用ケーブル x 2



外部スイッチ x 1



はじめに

保証について

このタイムキーパーの保証書は国内に限り有効です。
万一、海外で故障や不具合が生じたときは、帰国した後、販売店までご連絡ください。

データの補償について

必ず事前にプログラミングの試行をし、データがとれることを確認してください。
万一、スイッチなどの不具合により、データがとれなかった時の補償については、ご容赦ください。

本体について

本体は簡易防水を施してありますが、水や海水などの液体で濡らさないようにしてください。
故障、感電、火災の原因となります。

液晶モニターについて

液晶モニターは、強い衝撃を与えると割れる恐れがありますので、ご注意ください。
故障、感電、火災の原因となります。

電源について

専用の電源用ケーブル以外は使わないでください。
故障、感電、火災の原因となります。

接続コネクタについて

必要以上に力がかかると、電線が切れる場合がありますので、ご注意ください。
故障、感電、火災の原因となります。

外部スイッチについて

外部スイッチは防水加工されていません。絶対に水や海水などの液体で濡らさないでください。
故障、感電、火災の原因となります。

イヤホンについて

必ずステレオミニジャックのものをお使いください。
故障、感電、火災の原因となります。

安全上のご注意

事故や損害を未然に防ぐため、事前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、製品をお使いください。別売アクセサリをお使いになる時は、付属の使用説明書もあわせてご確認ください。

- ・分解、改造、加熱しないでください。
- ・落下などで破損したときは、内部には触れないでください。
- ・アルコールなどの有機溶剤で手入れしないでください。
- ・内部に液体や異物等を入れないでください。
- ・専用の電源用ケーブル以外は使わないでください。
- ・水や海水などの液体で濡らさないようにしてください。
- ・落とすなどして強い衝撃を与えないでください。
- ・直射日光のあたるところ、40℃を超える高温になるところで保管しないでください。

本製品の使用方法

目次

ラリールについて	- 2 -
操作方法	- 3 -
充電する	- 3 -
電源の ON / OFF	- 3 -
電池状態	- 4 -
初期画面	- 4 -
時刻設定	- 5 -
マスターと同期	- 5 -
手動設定	- 5 -
時刻表示画面	- 7 -
プログラミング	- 7 -
プログラムの実行	- 11 -
サンプルプログラム	- 15 -
オフィシャルの指示によって PC に入る場合	- 15 -
CO に続き PC に入る場合	- 15 -
CO の後、オフィシャルの指示によって PC に入る場合	- 16 -
オフィシャルの指示によって PC に入り、その後 CO がある場合	- 16 -
輝度・音量を変える	- 16 -
時間計算機能	- 17 -
接続マップ	- 20 -
別売りアクセサリ	
シガーライター電源ケーブル	
ACアダプター	

ラリールについて

TIME KEEPER でのラリール用語を簡単に説明します。

CO (Controlli Orari)	決められた時刻に対しての誤差を競うポイント
PC (Prove Cronometrate)	決められた時間に対しての誤差を競うポイント
SPC	フリースタートで始まる PC のスタートポイント

ケース1

- スタート時刻を 10:00:00
- SPC1 オフィシャルの指示待ち
- SPC1 の通過時間から 6 秒後に PC1 を通過

START	SPC1	PC1
└	+ 6"	└
10:00:00	オフィシャル の指示待ち	

ケース2

- スタート時刻を 10:00:00
- CO1 を指定時刻 10:30:30 に通過
- CO1 の通過時間から 6 秒後に PC1 を通過

START	CO1	PC1
└	+ 6"	└
10:00:00	指定時刻 10:30:30	

TIME KEEPER ができること

マスタークロックと同期することにより、正確な時刻を刻みます。

CO における時刻誤差を少なくできます。

ラリーの各チェックポイントを予めプログラミングし、チェック通過時にチェックボタンを押せば、通過しなければいけない時間を正確に教えてくれます。

⚠ 時刻はオフィシャル時計が基準となるので、マスタークロックが正とは限りません。

操作方法

お手元に TIME KEEPER をご用意いただき、以下の手順を行っていただければ、よりご理解いただけると思います。

充電する

本体には、充電式バッテリーが内蔵されています。

メインハーネスに電源用ケーブルを接続し、カーバッテリーから充電するか、

別売りのACアダプターをメインハーネスに接続して充電します。

満充電から、バッテリーのみで約24時間連続で動かすことができます。

充電しながらの動作も可能です。

⚠ 充電式バッテリーは、お客様が替える事はできません。

電源のON

左下の [PWR] を一秒以上押すと、電源が入ります。

プログラムが実行されていない状態で、一秒以上 [PWR] を押すと画面表示が全て消えます。

画面が消えてからすぐに [PWR] を離すと、画面が消えただけで、完全に電源は切れていない状態となり

時刻、プログラムは記憶しています。TIME KEEPER は、内部的に動作しているので、再度 [PWR] を

一秒以上押すと復帰します。但し、時刻は正確でない場合があるので合わせ直す必要があります。

⚠ 電源は ON 状態なので、電池を消耗します。

電池切れにならないよう、電源を接続しておくことをお勧めします。

電源のOFF

プログラムが実行されていない状態で、一秒以上 [PWR] を押すと画面表示が全て消えます。

画面が消えても [PWR] を押し続けると



が表示されます。

電源を完全に OFF する場合は [ENT] を押します。(時刻、プログラムは消えます。)

電源を完全に OFF しない場合は [A]、[B] を押します。(時刻、プログラムは記憶しています。)

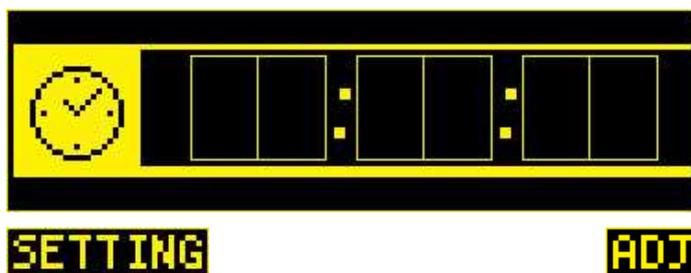
電池状態
左上の



マークが電池残量を現します。

	70% ~
	40% ~
	10% ~ 30% 未満になると点滅します。
	1% ~
	外部電源が接続されている状態。 過充電されないようになっているので、 外部電源を接続したままで使用することもできます。

初期画面



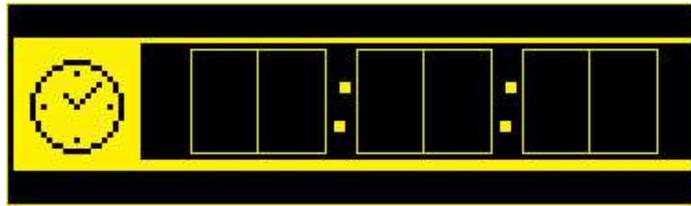
ボタン [A]
画面輝度、音量等の
設定画面になります

ボタン [B]
時刻の設定画面に
なります

画面下に、[A]、[ENT]、[B] に割り振られた機能が表示されます。

SETTING	[A]	輝度・音量の設定画面に入ります。
RET	[A]	一つ前の画面に戻ります。
OK	[ENT]	
SET	[ENT]	
NAVI	[ENT]	プログラミング画面に入ります。
EDIT	[ENT]	プログラムの入力
RESULT	[ENT]	結果表示画面に入ります。
ADJ	[B]	時刻合わせ画面に入ります。
SUB	[B]	プログラミング時の行挿入・行削除を実行します。
DEF	[B]	輝度・音量を標準設定に戻します。
CLOCK	[B]	時刻表示画面に戻ります。

時刻設定



SETTING

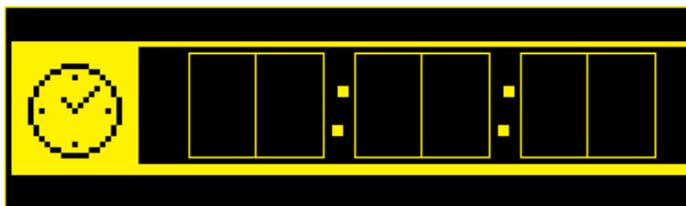
ボタン [A]
画面輝度、音量等の
設定画面になります

ADJ

ボタン [B]
時刻の設定画面に
なります

初期画面、時刻表示画面で「B」を押し、時刻設定に入ります。

▲上の絵は初期画面です。



**マスターと同期
手動設定**

RET

ボタン [A]
初期画面に戻ります

OK

ボタン [ENT]
実行します

マスターと同期

[▲][▼]で「マスターと同期」を選択し、マスタークロックの下部にある赤外線ポートに TIME KEEPER の上部にある赤外線ポートを近づけてから[ENT]を押します。

同期が取れると、ピッとブザー音がして、時刻表示画面になります。

同期が取れない場合は、[A] を押して時刻設定画面に戻ってください。

▲ マスタークロックが時刻を表示している場合に限りです。

▲ 音量の設定により、音が聞こえない場合があります。

手動設定

[▲][▼]で「手動設定」を選択し、[ENT]を押します。

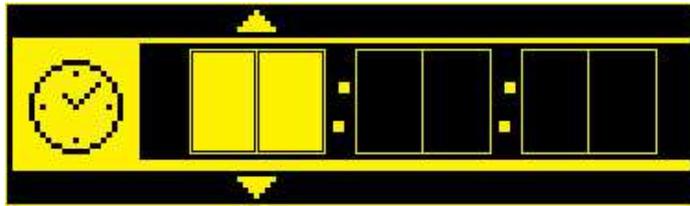
**マスターと同期
手動設定**

RET

ボタン [A]
初期画面に戻ります

OK

ボタン [ENT]
実行します



RET

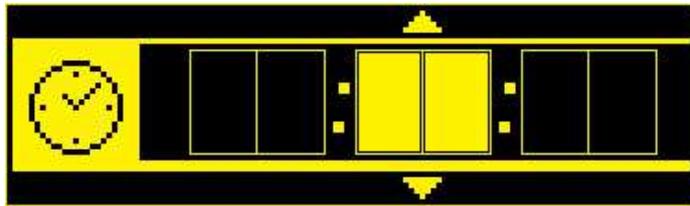
SET

ボタン [A] ボタン [ENT]
初期画面に戻ります 時刻を確定します

[▲][▼][0]..[9]で時を合わせます。

[▶]で分に移動します。

⚠ 数値を変更するには [CLR] を押して、「00」に戻し再度入力してください。



RET

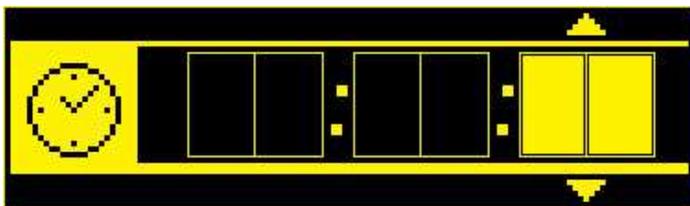
SET

ボタン [A] ボタン [ENT]
初期画面に戻ります 時刻を確定します

[▲][▼][0]..[9]で分を合わせます。

[▶]で秒に移動します。

⚠ 数値を変更するには [CLR] を押して、「00」に戻し再度入力してください。



RET

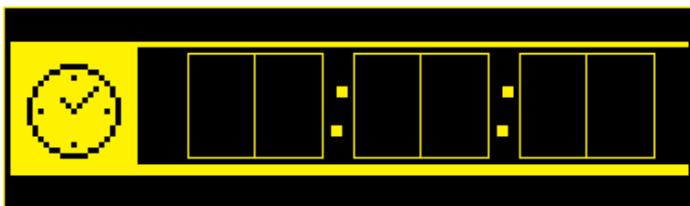
SET

ボタン [A] ボタン [ENT]
初期画面に戻ります 時刻を確定します

[▲][▼][0]..[9]で分を合わせます。

⚠ 数値を変更するには [CLR] を押して、「00」に戻し再度入力してください。

同期タイミングで[ENT]を押します。



RET

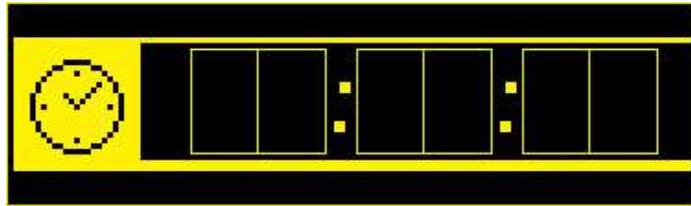
EDIT

ボタン [A] ボタン [ENT]
初期画面に戻ります 時刻設定に戻ります

1 秒間隔でブザー音がします。同期が取れていたら、[A] を押します。
再度合わせる時は、[ENT] を押します。

- ▲ 電源を切ると、時刻、プログラムはすべて消えます。
- ▲ 音量の設定により、音が聞こえない場合があります。

時刻表示画面



SETTING

ボタン [A]
画面輝度、音量等の
設定画面になります

NAVI

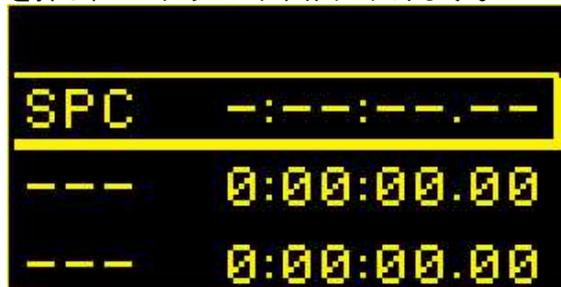
ボタン [ENT]
プログラミング
画面になります

ADJ

ボタン [B]
時刻設定画面に
なります

プログラミング

時刻表示画面で [ENT] を押し、プログラミング画面に入ります。



RET

ボタン [A]
時刻表示画面に
戻ります

EDIT

ボタン [ENT]
太枠で囲まれた
行の編集を実行します

SUB

ボタン [B]
行の挿入、削除を
実行します

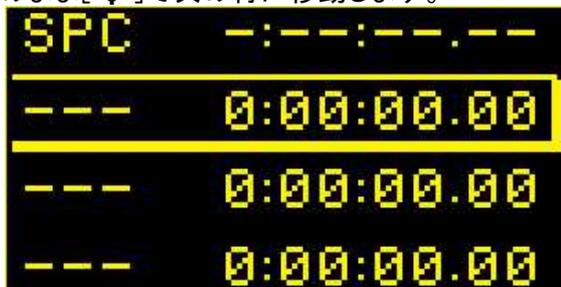
フリースタートの 2連続 PC の場合を想定します。

SPC1 オフィシャルの指示待ち
SPC1 の通過時間から 6 秒後に PC1 を通過
PC1 の通過時間から 7 秒後に PC2 を通過

SPC1	PC1	PC2
ト	6"	7"
+		+

オフィシャル
の指示待ち

最初は、SPC なのでそのまま[▼]で次の行に移動します。



RET

ボタン [A]
時刻表示画面に
戻ります

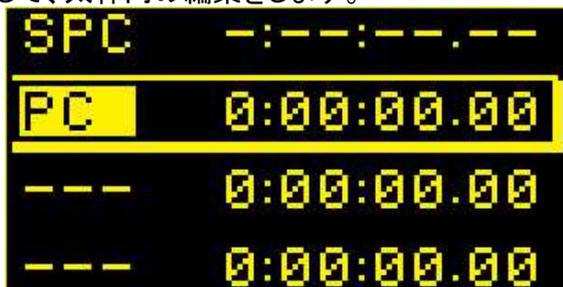
EDIT

ボタン [ENT]
太枠で囲まれた
行の編集を実行します

SUB

ボタン [B]
行の挿入、削除を
実行します

この画面で [ENT] を押して、太枠内の編集をします。



RET

ボタン [A]
時刻表示画面に
戻ります

SET

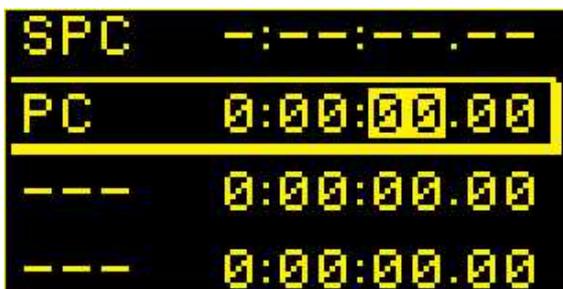
ボタン [ENT]

ここで [▼] を押すと **SPC** ⇒ **CO** ⇒ **---** ⇒ **PC** と、選択できます。

[▲] を押すと、逆に **---** ⇒ **CO** ⇒ **SPC** ⇒ **PC** と、選択できます。

SPC	フリースタート地点 オフィシャルの指示でスタートする
PC	計測地点 一つ前からの所要時間を計測する
CO	計測地点 指定時刻に通過する
---	未設定 プログラムの実行が終了する

想定では、PC なので **PC** を選択し、[▶] を押します。



RET

ボタン [A]
時刻表示画面に
戻ります

SET

ボタン [ENT]
設定を確定します

PC の場合、秒のところにカーソルが移動します。

[▲][▼][0]..[9]で秒を入力します。

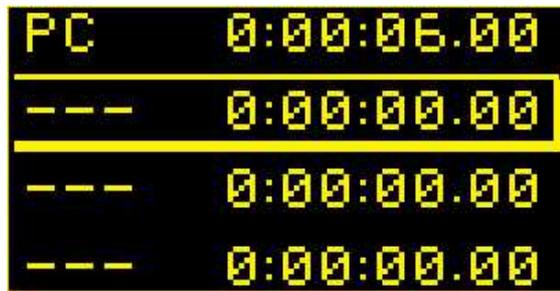
時、分、1/100秒を入力するには、[◀][▶]でカーソルを移動させて入力します。

入力が完了したら、[ENT]を押して決定します。

次の行の編集準備が整います。

▲ 数値を変更するには [CLR] を押して、「00」に戻し再度入力してください。

▲ CO の場合、時のところにカーソルが移動します。



RET

EDIT

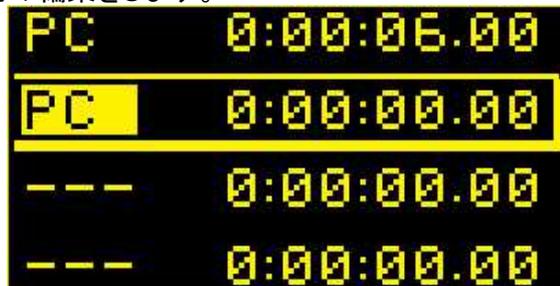
SUB

ボタン [A]
時刻表示画面に
戻ります

ボタン [ENT]
太枠で囲まれた
行の編集を実行します

ボタン [B]
行の挿入、削除を
実行します

次の PC をプログラムします。
[ENT] を押して、太枠内の編集をします。



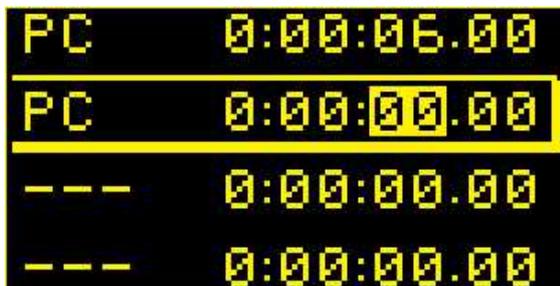
RET

SET

ボタン [A]
時刻表示画面に
戻ります

ボタン [ENT]
設定を確定します

想定では、PC なので **PC** を選択し、[▶] を押します。



RET

SET

ボタン [A]
時刻表示画面に
戻ります

ボタン [ENT]
設定を確定します

PC の場合、秒のところにカーソルが移動します。
[▲][▼][0]..[9]で秒を入力します。
時、分、1/100秒を入力するには、[◀][▶]でカーソルを移動させて入力します。
入力が完了したら、[ENT]を押して決定します。
次の行の編集準備が整います。

- ▲ 数値を変更するには [CLR] を押して、「00」に戻し再度入力してください。
- ▲ CO の場合、時のところにカーソルが移動します。

```

PC      0:00:07.00
----- 0:00:00.00
----- 0:00:00.00
----- 0:00:00.00

```

RET

EDIT

SUB

ボタン [A]
時刻表示画面に
戻ります

ボタン [ENT]
太枠で囲まれた
行の編集を実行します

ボタン [B]
行の挿入、削除を
実行します

想定分の入力が必要です。

▲ プログラムは最大 50 行です。

▲ 電源を切ると、時刻、プログラムはすべて消えます。

プログラム行の挿入

```

PC      0:00:06.00
PC      0:00:07.00
PC      0:00:08.00
----- 0:00:00.00

```

RET

EDIT

SUB

ボタン [A]
時刻表示画面に
戻ります

ボタン [ENT]
太枠で囲まれた
行の編集を実行します

ボタン [B]
行の挿入、削除を
実行します

[B] を押すと、右下に画面右下に  が表示されます。



[▲][▼]で「INS」を選択し、[ENT] を押します。

```

PC      0:00:06.00
PC      0:00:07.00
PC      0:00:07.00
PC      0:00:08.00

```

RET

EDIT

SUB

ボタン [A]
時刻表示画面に
戻ります

ボタン [ENT]
太枠で囲まれた
行の編集を実行します

ボタン [B]
行の挿入、削除を
実行します

一行挿入されます。

▲ プログラム 50 行目は消去されます。行数を確認した上で実行してください。

プログラム行の削除

```
PC 0:00:06.00
PC 0:00:07.00
PC 0:00:08.00
--- 0:00:00.00
```

RET

EDIT

SUB

ボタン [A]
時刻表示画面に
戻ります

ボタン [ENT]
太枠で囲まれた
行の編集を実行します

ボタン [B]
行の挿入、削除を
実行します

[B] を押すと、右下に画面右下に

INS
DEL

が表示されます。

[▲][▼]で「DEL」を選択し、[ENT] を押します。

```
PC 0:00:06.00
PC 0:00:08.00
--- 0:00:00.00
--- 0:00:00.00
```

RET

EDIT

SUB

ボタン [A]
時刻表示画面に
戻ります

ボタン [ENT]
太枠で囲まれた
行の編集を実行します

ボタン [B]
行の挿入、削除を
実行します

一行削除されます。

プログラムの実行

プログラムの実行は、SPC または CO にカーソルを合わせて [CHK] を押します。

SPC の場合、現在時刻が表示され、スタート待ちとなります。

CO の場合、通過予定時刻までのカウントダウンが始まります。

想定の続きから

```
PC      0:00:07.00
---    0:00:00.00
---    0:00:00.00
---    0:00:00.00
```

RET

EDIT

SUB

ボタン [A]
時刻表示画面に
戻ります

ボタン [ENT]
太枠で囲まれた
行の編集を実行します

ボタン [B]
行の挿入、削除を
実行します

の画面が残っていると思います。[▲] で SPC を太枠に移動させます。

```
SPC    -:--:--.--
PC      0:00:06.00
PC      0:00:07.00
```

RET

EDIT

SUB

ボタン [A]
時刻表示画面に
戻ります

ボタン [ENT]
太枠で囲まれた
行の編集を実行します

ボタン [B]
行の挿入、削除を
実行します

この状態にして [CHK] を押します。

```
SPC    [ ] [ ] : [ ] [ ] : [ ] [ ]
```

```
PC      0:00:06.00
PC      0:00:07.00
```

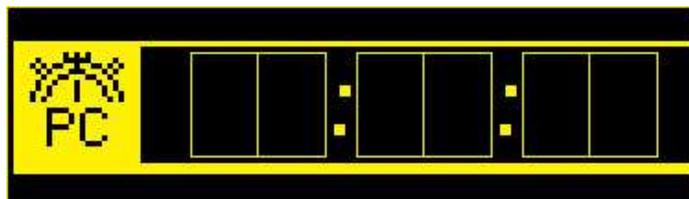
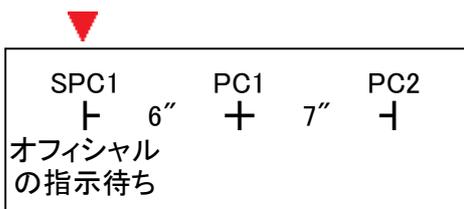
RESULT

ボタン [ENT]
結果を表示します

画面中央に現在時刻が表示されて、画面下段は最初の区間の所要時間が表示されます。

- ▲ プログラム実行中でも [ENT] を押すと結果を確認できます。カウントダウンは継続されます。
- ▲ 結果表示からプログラム実行に戻るには [ENT] を押します。

オフィシャルの Go が出たら、車両の前輪が通過するタイミングで [CHK] を押します



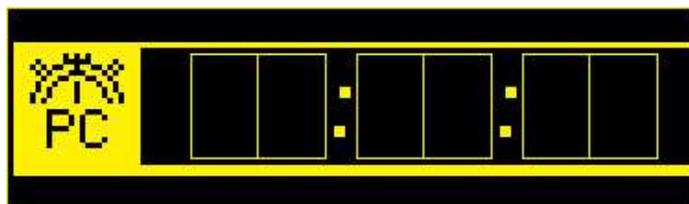
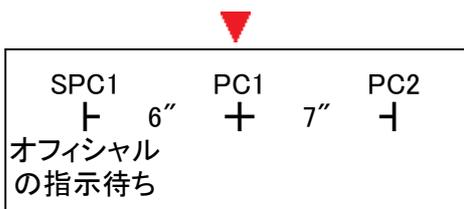
RESULT

ボタン [ENT]
結果を表示します

画面中央の表示が、00:00:06.00 からのカウントダウンになり、画面下段は次の所要時間になります。
TIME KEEPER 本体からブザー音、イヤホンからブザー音と音声を聞くことができます。

- ▲ 音量の設定により、音が聞こえない場合があります。
- ▲ ブザー音は、1 分前から 1 秒間隔でなります。設定時間を超えた場合、音は出なくなります。
- ▲ 音声は、5 秒前から 4、3、2、1 のカウントダウンです。
- ▲ プログラム実行中でも [ENT] を押すと結果を確認できます。カウントダウンは継続されます。
- ▲ 結果表示からプログラム実行に戻るには [ENT] を押します。

車両の前輪が通過するタイミングで [CHK] を押します。



RESULT

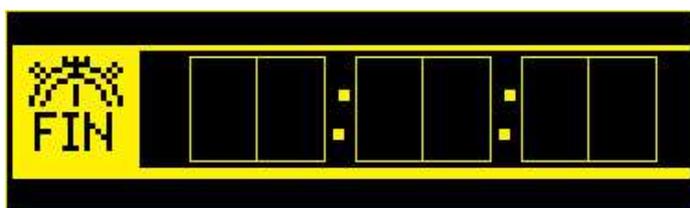
ボタン [ENT]
結果を表示します

画面中央の表示が、00:00:07.00 からのカウントダウンになり、プログラムの最後なので下段は何も表示されません。
TIME KEEPER 本体からブザー音、イヤホンからブザー音と音声を聞くことができます。

- ▲ 音量の設定により、音が聞こえない場合があります。
- ▲ ブザー音は、1 分前から 1 秒間隔でなります。設定時間を超えた場合、音は出なくなります。
- ▲ 音声は、5 秒前から 4、3、2、1 のカウントダウンです。
- ▲ プログラム実行中でも [ENT] を押すと結果を確認できます。カウントダウンは継続されます。
- ▲ 結果表示からプログラム実行に戻るには [ENT] を押します。

車両の前輪が通過するタイミングで [CHK] を押します。

SPC1	PC1	PC2
ト 6"	+	7"
オフィシャル の指示待ち		



RESULT

ボタン [ENT]
結果を表示します

想定分のプログラムが終了しました。
[ENT] を押して、結果を見ます。

SPC	10:20:30.45
PC	-0:00:00.80
PC	0:00:00.09
---	0:00:00.00

NAVI

ボタン [ENT]
プログラム実行
画面になります

CLOCK

ボタン [B]
時刻表示画面に
なります

SPC は、通過時に [CHK] を押した時刻が記録されます。
 PC は、設定時間に対しての早着、遅着の時間が記録されます。

想定の結果は、

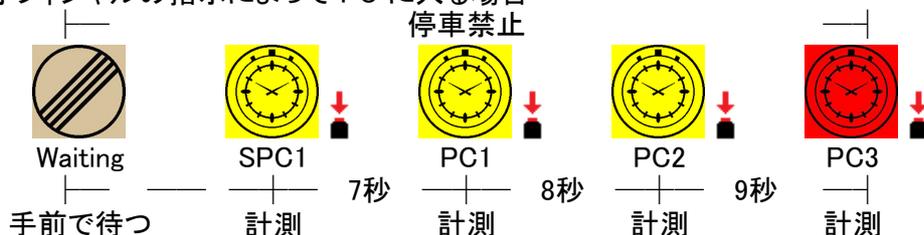
SPC1 は、10:20:30.45 に [CHK] を押しました。
 SPC1 から PC1 の所要時間の誤差は -00:00:00.80 でした。0.80秒遅かったです。
 PC1 から PC2 の所要時間の誤差は 00:00:00.09 でした。0.09秒早かったです。

SPC1 ┆ 10:20:30.45	6"	PC1 +	7"	PC2 +
	-0:00:00.80		00:00:00.09	
	0"80 遅着		0"09 早着	

プログラムが実行中の場合は、[ENT] でプログラム実行画面に戻ります。
 プログラムが完了した場合、途中で中断する場合は、[B] で時刻表示画面に戻ります。

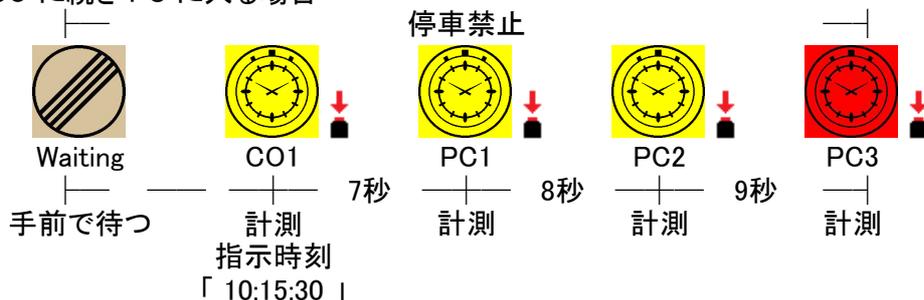
サンプルプログラム

オフィシャルの指示によって PC に入る場合



- | | | |
|--------|-------------|---|
| | | 現在時刻が表示される。 |
| 1. SPC | 00:00:00.00 | オフィシャルの Go が出たら SPC の計測ポイントで [CHK] を押す。
SPC - PC1 の間の所要時間のカウントダウンが始まる。 |
| 2. PC | 0:00:07.00 | PC1 の計測ポイントで [CHK] を押す。
PC1 - PC2 の間の所要時間のカウントダウンが始まる。 |
| 3. PC | 0:00:08.00 | PC2 の計測ポイントで [CHK] を押す。
PC2 - PC3 の間の所要時間のカウントダウンが始まる。 |
| 3. PC | 0:00:09.00 | PC3 の計測ポイントで [CHK] を押す。 |

CO に続き PC に入る場合



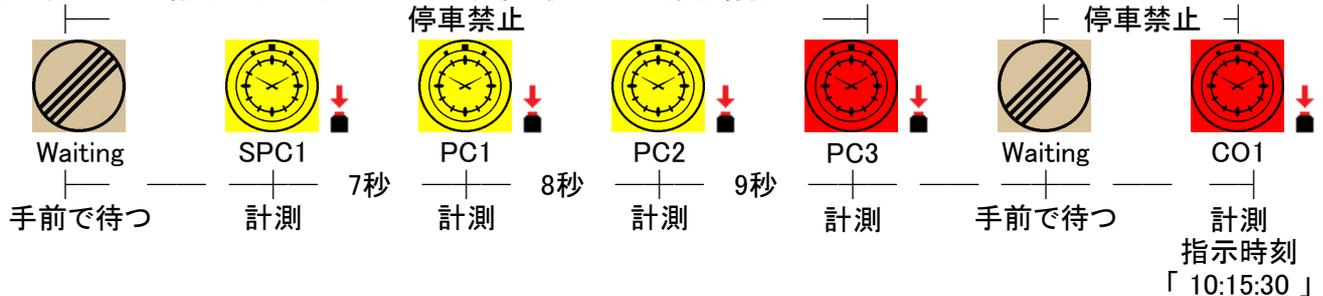
- | | | |
|-------|-------------|---|
| | | 自車の通過予定時刻までのカウントダウンが表示される。 |
| 1. CO | 10:15:30.00 | 自車の通過予定時刻に合わせ計測ポイントで [CHK] を押す。
CO1 - PC1 の間の所要時間のカウントダウンが始まる。 |
| 2. PC | 0:00:07.00 | PC1 の計測ポイントで [CHK] を押す。
PC1 - PC2 の間の所要時間のカウントダウンが始まる。 |
| 3. PC | 0:00:08.00 | PC2 の計測ポイントで [CHK] を押す。
PC2 - PC3 の間の所要時間のカウントダウンが始まる。 |
| 3. PC | 0:00:09.00 | PC3 の計測ポイントで [CHK] を押す。 |

CO の後、オフィシャルの指示によって PC に入る場合



- 自車の通過予定時刻までのカウントダウンが表示される。
1. CO 10:15:30.00 自車の通過予定時刻に合わせて最初の計測ポイントで [CHK] を押す。
現在時刻が表示される。
 2. SPC ---:---:--- オフィシャルの GO が出たら最初の計測ポイントで [CHK] を押す。
SPC - PC1 の間の所要時間のカウントダウンが始まる。
 3. PC 0:00:07.00 PC1 の計測ポイントで [CHK] を押す。
PC1 - PC2 の間の所要時間のカウントダウンが始まる。
 4. PC 0:00:08.00 PC2 の計測ポイントで [CHK] を押す。
PC2 - PC3 の間の所要時間のカウントダウンが始まる。
 5. PC 0:00:09.00 PC3 の計測ポイントで [CHK] を押す。

オフィシャルの指示によって PC に入り、その後 CO がある場合



- 現在時刻が表示される。
1. SPC ---:---:--- オフィシャルの GO が出たら最初の計測ポイントで [CHK] を押す。
SPC - PC1 の間の所要時間のカウントダウンが始まる。
 2. PC 0:00:07.00 PC1 の計測ポイントで [CHK] を押す。
PC1 - PC2 の間の所要時間のカウントダウンが始まる。
 3. PC 0:00:08.00 PC2 の計測ポイントで [CHK] を押す。
PC2 - PC3 の間の所要時間のカウントダウンが始まる。
 4. PC 0:00:09.00 PC3 の計測ポイントで [CHK] を押す。
自車の通過予定時刻までのカウントダウンが表示される。
 5. CO 10:15:30.00 自車の通過予定時刻に合わせて最初の計測ポイントで [CHK] を押す。

輝度・音量を変える



ボタン [A]
画面輝度、音量等の
設定画面になります

ボタン [ENT]
プログラミング
画面になります

ボタン [B]
時刻設定画面に
なります

初期画面、時刻表示画面で [A] を押して、設定画面に入ります。

▲上の画面は、時刻表示画面です。

設定画面



RET

ボタン [A]
初期画面、時刻表示
画面に戻ります

DEF

ボタン [B]
標準設定に
なります

LCDコントラスト	画面の明るさを調節する
ガイダンス時報	イヤホンから聞こえるブザー音の大きさを調節する
ガイダンス音声	イヤホンから聞こえる音声の大きさを調節する
ブザー音量	TIME KEEPER 本体のブザー音の大きさを調節する

[▲][▼]で調節したい項目を選択して、[◀][▶]で調節します。
[B]を押すと、全ての項目の設定が中央になります。

- ▲ イヤホンは、必ずステレオイヤホンを使用してください。
モノラルの場合、音声が聞こえなかったり本体が破損する恐れがあります。
- ▲ イヤホンを使用する場合、音量を上げすぎないようにご注意ください。

時間計算機能

初期画面、時刻表示画面、プログラミング画面で、数字キーを押すと、時間計算画面になります。
10時 45分 35秒に 45分 40秒を加算する場合、最初に [1] を押します。



+

ボタン [A]
加算のとき押します

=

ボタン [ENT]
計算のとき押します

-

ボタン [B]
減算のとき押します

次に [0] を押します。



ボタン [A] ボタン [ENT] ボタン [B]
加算のとき押します 計算のとき押します 減算のとき押します

次に [4] を押します。



ボタン [A] ボタン [ENT] ボタン [B]
加算のとき押します 計算のとき押します 減算のとき押します

▲ 間違えた場合は、[CLR] を押して、一文字入力前の状態に戻します。

このように、最初に入力した数字が、右にひとつずれ、秒の一の位に入力した値が入ります。
続けて [5] [3] [5] を押します。



ボタン [A] ボタン [ENT] ボタン [B]
加算のとき押します 計算のとき押します 減算のとき押します

加算するので、[A] を押します。



ボタン [A] ボタン [ENT] ボタン [B]
加算のとき押します 計算のとき押します 減算のとき押します

続けて [4] [5] [4] [0] を押します。



ボタン [A] ボタン [ENT] ボタン [B]
加算のとき押します 計算のとき押します 減算のとき押します

[ENT] を押して、計算させます。



ボタン [A] ボタン [ENT] ボタン [B]
加算のとき押します 計算のとき押します 減算のとき押します

計算結果をメモリーさせて、プログラムに貼り付けることができます。

[SET] を 0.5 秒押すと、計算結果がメモリーされ、左上に **M** が表示されます。

プログラミング画面の時間入力にカーソルを移動させて [SET] を押すとメモリーされた時間が書き込まれ、入力が確定されます。

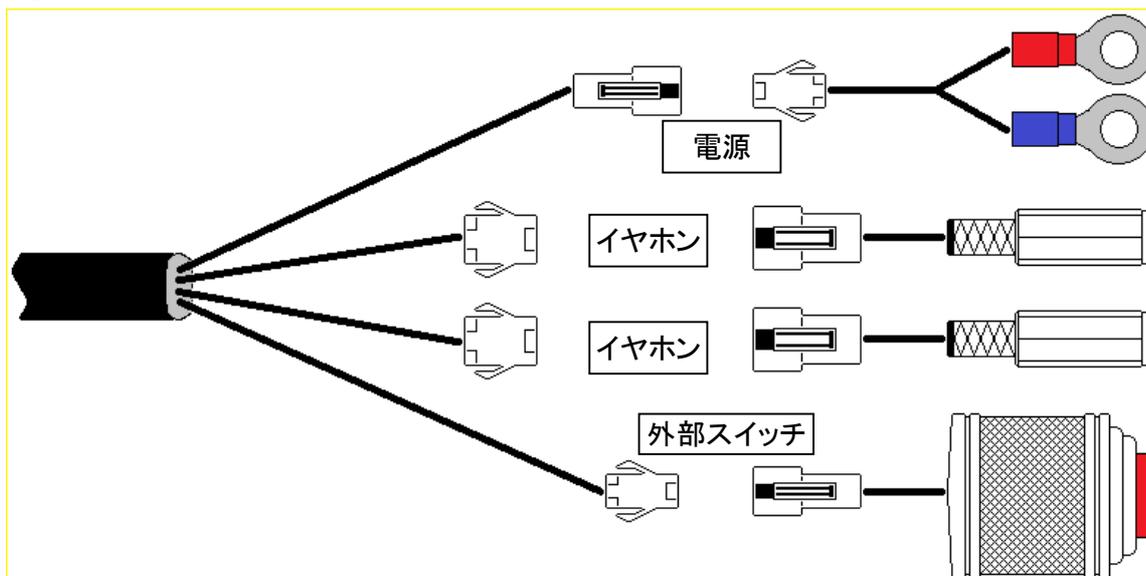
[SET] を約 1.0 秒押すと、メモリーが消去され、左上の **M** が消えます。

[PWR] を押すと、計算モードから抜けます。

⚠ [PWR] を押し続けると、電源が切れてしまうので注意してください。

⚠ 秒以下の値を入力する場合は、[.] を押してから入力してください。

接続マップ



- ⚠ 電源は、プラス・マイナスを逆に接続しないようご注意ください。
- ⚠ 必要以上に力がかかると、電線が切れる場合がありますので、ご注意ください。

保証書

型式: TIME KEEPER

お客様	ご住所	
	お名前	
販売店	住所	
	販売店名	
販売年月日		年 月 日

本機の保証期間はご購入後 6ヶ月間です。保証期間中につきましては、以下の保証規定により無償修理いたします。

保証規定

1. 保証期間中の正常な使用状態において、製造上の責任による事故が生じた場合。
2. 本保証書にお名前、販売店名、販売年月日のないものは無効となります。
3. 保証期間内でも以下の場合、保証の対象外です。有償修理となります。
 - ① お取り扱い方法が不適切なために生じた故障
 - ② 故障原因が本機以外の要因による場合
 - ③ 電氣的・機械的な改造を加えられた場合
 - ④ 天災等不測の事故による場合

製造元

株式会社 エフ・アンド・オー・システムズ
〒399-8204

長野県安曇野市豊科高家5356-12

TEL: 0263-72-8288 FAX: 0263-72-6655

E-Mail: info@fando.co.jp

URL: <http://www.fando.co.jp/>